

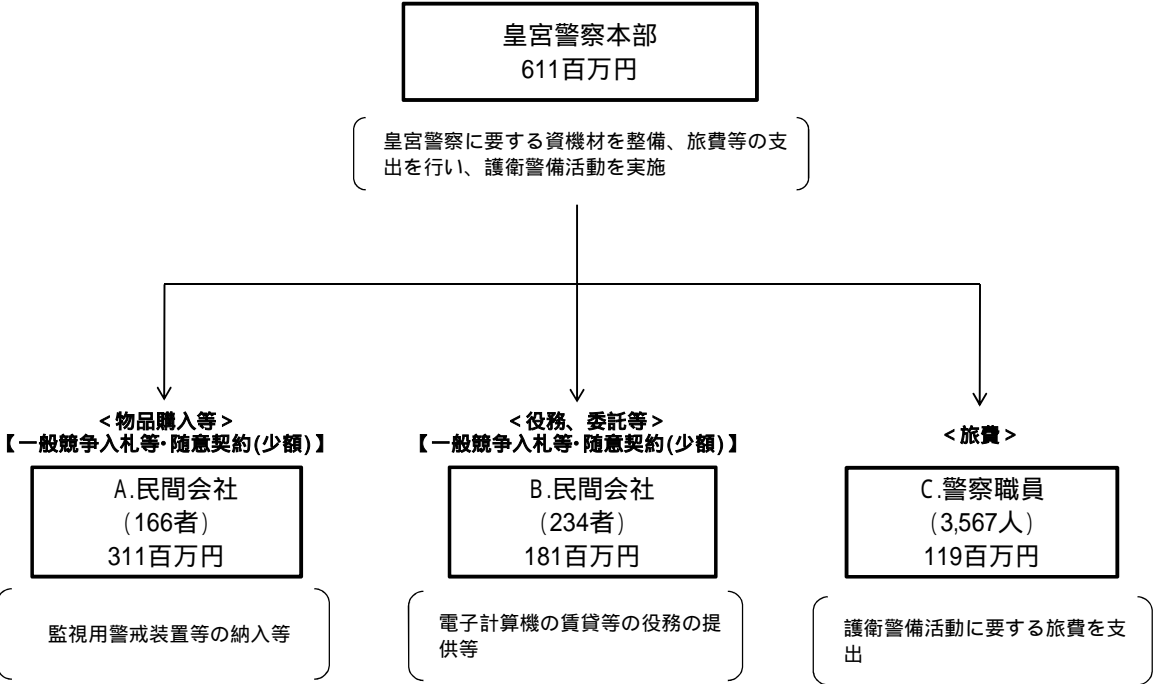
平成25年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	皇宮警察本部		担当部局	皇宮警察本部		作成責任者	副本部長 大橋 亘		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	会計課					
会計区分	一般会計		政策・施策名	国の公安の維持 1 重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	天皇皇后両陛下及び皇族各殿下の生命、身体、財産の安全を確保することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	天皇皇后両陛下及び皇族各殿下のご身の安全確保のため、24時間体制の護衛を実施するとともに、皇居・赤坂御用地を始め、京都御所、各御用邸等の皇室用財産において、24時間体制で立番、警ら等の警備を実施し、安全を確保している。当該事業はそれら護衛警備に要する必要な経費の支出及び護衛警備用資機材等の整備を行う。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	781	734	674	683	723		
		補正予算	0	0	111	0			
		繰越し等	0	0	100	100			
		計	781	734	685	783	723		
	執行額		632	608	611				
執行率(%)		81%	83%	89%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) 天皇皇后両陛下及び皇族各殿下の安全確保			成果実績	件	0	0	0	-
	(成果指標) 重大な違法事案の発生件数			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	天皇皇后両陛下の地方行幸啓及び皇太子同妃両殿下の地方行啓回数(恒例的なもの)			活動実績 (当初見込み)		11	11 (11)	11 (11)	(11)
単位当たり コスト	610,470(千円/年)			算出根拠	年間執行額				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	物品購入等	388	433						
	役務、委託等	152	147						
	旅費	143	143						
	計	683	723						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			当該事業は優先度が高い事業であり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			競争入札を実施することを基本としており、事業の効率化に努めている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			当該事業の目的達成のため、実効性の高い手段をとっている。また、当該事業の目的達成のため、整備した施設、装備資機材等を活用している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	-		
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業は、当本部において契約を実施していることから、支出先・使途については把握している。					
	2 見直しの余地 当本部に必要な資機材等については、天皇后両陛下及び皇族各殿下のご身辺の安全の確保のために必要であり、継続して整備する必要がある。なお、契約に際しては、一般競争入札を実施するとともに、過去の調達実績を反映し、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	平成26年度予算の概算要求に当たっては、必要数の見直し及び契約実績を反映した要求単価の見直しを実施し、予算額の縮減を図ること。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	平成26年度予算の概算要求に当たり、整備対象装備資機材等の整理を図り、調達数(必要数)の見直しを行った他、契約実績を反映した要求単価の見直しを実施し、予算額の縮減を図った。(縮減額:6百万円)					
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初10、補正5	平成23年	39	平成24年	26

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.A(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入等	監視用警戒装置の改修等	80			
計		80	計		0
B.日本電子計算機(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務、委託等	電子計算機の借上	68			
計		68	計		0
C.警察職員			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	護衛警備活動に要する経費	119			
計		119	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A(株)		80		
(内訳)		監視用警戒装置の改修	45	4	
		監視用警戒装置の設置	26	2	
		監視用警戒装置の改修	8	1	
2	(株)三幸		18		
(内訳)		男性皇宮護衛官用合服上衣ほか調製	8	10	
		男性皇宮護衛官用夏服上衣(長袖)ほか調製	8	11	
3	(株)金原	男性皇宮護衛官用冬服上衣ほか調製	17	11	
4	B(株)		12		
(内訳)		内外着型耐刃防護衣調製	7	随意契約	
5	佐藤産業(株)	男性皇宮護衛官用合服上衣ほか調製	12	11	
6	東京電力(株)		11		
(内訳)		電気の供給	5	随意契約	
(内訳)		電気の供給	1	随意契約	
		電気の供給	1	随意契約	
		電気の供給	1	随意契約	
7	(株)ヴィナ		10		
(内訳)		男性皇宮護衛官用短靴ほか調製	8	8	
		略帽階級線付(警視)ほか調製	1	随意契約	
8	ミスズユニム(株)		9		
(内訳)		男性皇宮護衛官用雨衣 種(標準型)ほか調製	7	11	
		交通乗車服(夏服)ほか調製	1	随意契約	
9	松信電機(株)		9		
(内訳)		ガラス管(CF-15)ほか調製	8	1	
10	東京ガス(株)	ガスの供給	9	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電子計算機(株)	皇宮警察クライアント・サーバシステム賃貸借	68	随意契約	
2	(株)日本電機商会	京都御所管路ケーブル敷設	24	1	
3	A(株)		15		
(内訳)		白バイ等の輸送	12	随意契約	
4	小山(株)		10		
(内訳)		寝具賃貸借	6	1	
		寝具賃貸借	1	随意契約	
5	B(株)		7		
(内訳)		監視用警戒装置の移設	3	1	
		監視用警戒装置の点検	2	1	
6	東京センチュリーリース(株)	皇宮警察本部護衛警備サポートシステム賃貸借	5	随意契約	
7	コニカミルタビジネスソリューションズ(株)		5		
(内訳)		複写機保守及び消耗品供給	1	1	
		複写機保守及び消耗品供給	1	1	
		複写機賃貸借	1	随意契約	
8	(株)東衣装店	被服賃貸借	4	1	
9	C(株)		4		
(内訳)		監視用警戒装置の修繕	2	随意契約	
10	(株)奥田商会	映像射撃シミュレーター賃貸借	3	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警察職員	護衛警備等に要する旅費(延べ3,567人)	119		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

任 務

警察法第29条第2項

皇宮警察本部は、天皇及び皇后、皇太子その他皇族の護衛、皇居及び御所の警備その他の皇宮警察に関する事務をつかさどる。

天皇及び皇族の護衛 皇居及び御所等の警戒警備 その他の事務

- ・国賓の皇居参内時における護衛
- ・特命全権大使及び公使の信任状・解任状捧呈に伴う護衛
- ・天皇及び皇族の生命 身体 財産に対する罪等の犯罪捜査



信任状捧呈等に伴う護衛



行幸啓等に伴う護衛

【 護 衛 】

組 織

皇宮警察本部の組織は、皇宮警察本部長及び副本部長の下に、警務部門(5課)、警備部(2課)、護衛部(3課)の2部10課、坂下、吹上、赤坂、京都の4護衛署及び皇宮警察学校の15所属で構成されている。

皇宮警察本部

- Imperial Guard Headquarters -

活動拠点

- 京都御所(京都府)
- 桂離宮(京都府)
- 修学院離宮(京都府)
- 那須御用邸(栃木県)
- 御料牧場(栃木県)
- 皇居(東京都)
- 赤坂御用地(東京都)
- 常盤松御用邸(東京都)
- 葉山御用邸(神奈川県)
- 須崎御用邸(静岡県)
- 正倉院(奈良県)

